

# 空間デザイン検討委員会での検討状況

---

(第2回 高田松原津波復興祈念公園有識者委員会 資料)

平成28年3月29日

# 1. 空間デザイン検討委員会の概要

## ○主な検討事項

- 公園における空間デザインの検討
- 道の駅・伝承施設に係る空間デザインの調整
- 協働体制検討WG、震災津波伝承施設検討委員会での検討事項を反映した空間デザインの実現

## ○委員名簿

(敬称略)

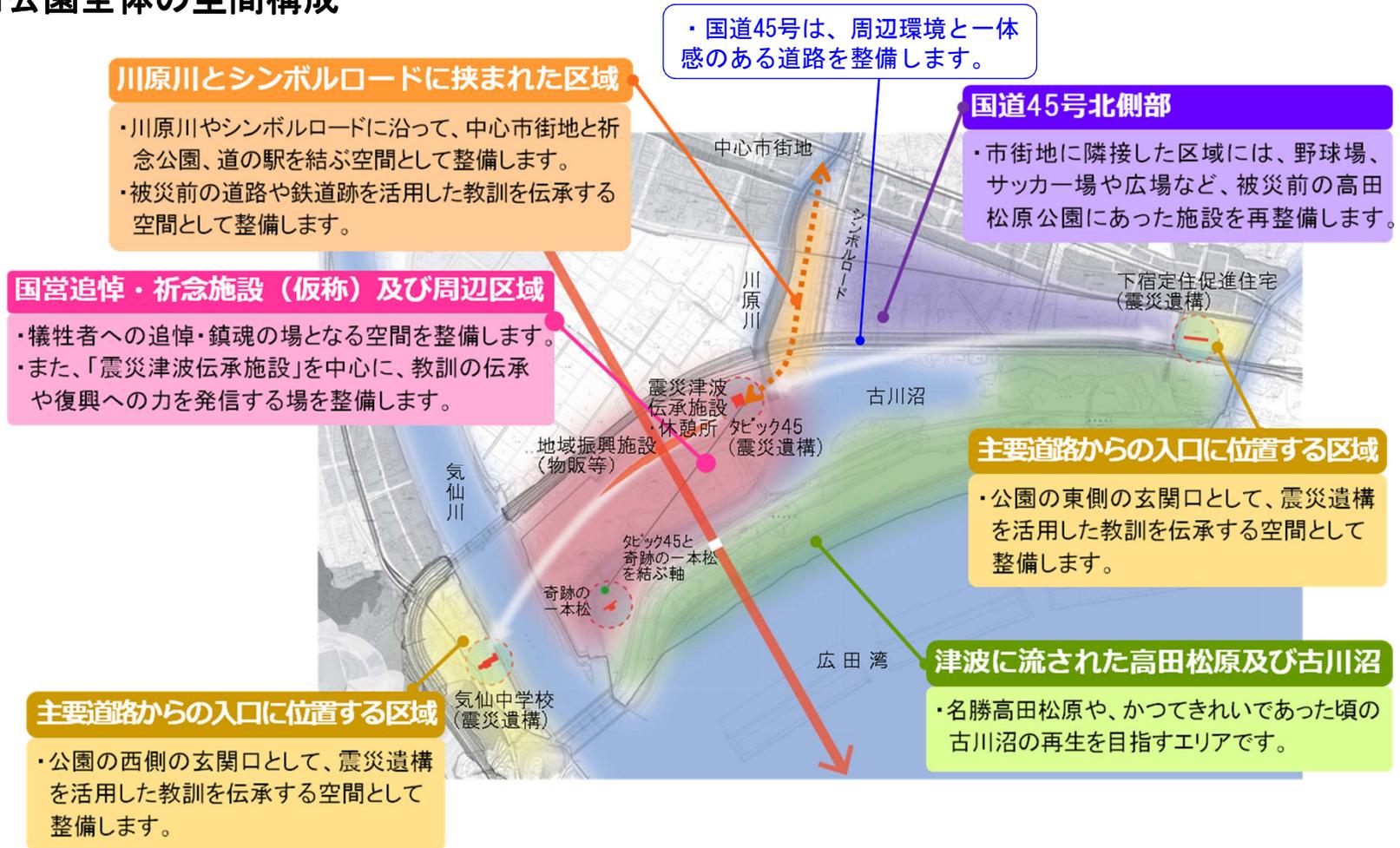
区分	氏名	所属・役職等
委員長	篠沢 健太	工学院大学建築学部教授
副委員長	平野 勝也	東北大学災害科学国際研究所准教授
委員	平塚 明	岩手県立大学総合政策学部教授
委員	松政 正俊	岩手医科大学教養教育センター生物学科教授
委員	佐々木美代子	陸前高田市地域女性団体協議会長

## ○事務局

東北国営公園事務所  
三陸国道事務所  
岩手県  
陸前高田市

# 1. 空間デザイン検討委員会の概要

## ■公園全体の空間構成



## 2. 検討スケジュール

### 有識者委員会【県】

8月5日開催

#### 第1回有識者委員会

○検討方針(案)について

3月29日開催

#### 第2回有識者委員会

○検討体制・スケジュール等について  
○各委員会等検討状況について  
○国営追悼・祈念施設(仮称)の基本設計(案)について

9月頃開催予定

#### 第3回有識者委員会

○各委員会等検討結果について  
○基本設計(案)について

### 空間デザイン検討委員会【国】

8月19日開催

#### 第1回委員会

○当面の重要な検討課題について

12月18日開催

#### 第2回委員会

○全域の空間デザインについて  
公園区域の空間デザイン/  
空間デザインの前提となる共通事項

3月17日開催

#### 第3回委員会

○各エリアの施設デザインについて  
各部の具体的デザイン/植栽・自然再生の具体的デザイン

8月頃開催予定

#### 第4回委員会

### 空間デザイン検討委員会 ワーキンググループ【国】

9月24日開催

#### 第1回WG

○空間デザイン全般について①

10月2日開催

#### 第2回WG

○植栽・自然再生について

11月20日開催

#### 第3回WG

○空間デザイン全般について②

2月24日開催

#### 第4回WG

○空間デザイン全般について③

4月～8月

必要に応じWGを開催

事業区域/土量/公園  
利用者の避難/津波伝  
承施設の基本仕様/植  
栽・自然再生

植栽・自然再生/土量配  
分/背面盛土/公園利用  
者の避難/震災遺構・遺  
物の活用/高田松原の  
復旧・再生/公園内への  
一般車両の乗り入れ/橋  
梁の高欄・照明等

### 3. 第1回空間デザイン検討委員会における主なご意見

日時:平成27年8月19日(水) 10:30~17:20

(うち12:30-14:30は現地視察)

会場:陸前高田市コミュニティホール 2階 大会議室A

出席者:篠沢健太委員長、平野勝也副委員長、  
佐々木美代子委員、平塚明委員、松政正俊委員



#### ○震災津波伝承施設(仮称)について

- ・道の駅の設計と連携しつつ、建築の基本仕様を検討・調整する必要がある
- ・伝承活動を行う人材を配置することが必要 >>>今後、震災津波伝承施設検討委員会でも検討

#### ○公園利用者の避難のあり方について

- ・避難施設の配置や高さは、避難時間と最悪想定での避難シミュレーションの結果を踏まえて設定することが必要であり、整備費も踏まえて徹底的に整備するか全く作らないかの選択が必要
- ・避難施設を設けない場合、リスク承知の上で利用して頂くと同時に、ソフトによる誘導策が必要
- ・避難シェルターは、あくまで関係者用の小さなものを想定しており、築山との兼ね合い、コストや土量の制約等も睨みながらの検討が必要

#### ○植栽・自然再生の基本的考え方について

- ・当初からある程度成木を植えて、順次更新できるようにしたい
- ・高田松原の後継マツ苗については、必要に応じて公園内に植栽することも検討されたい
- ・古川沼について
  - \*ラムサール登録湿地を視野に入れてはどうか
  - \*できる限り人為を加えず、安上がりに整備することを考えて欲しい
  - \*川原川上流部と一体的な生態系となるよう整備方法を検討して欲しい
- ・造園的に作り込む部分、自然遷移にゆだねる部分等、早めにゾーニングを決める必要がある

#### ○その他

- ・刻銘碑のあり方については、早い時期に国が判断を下すようお願いしたい

## 4. 第2回空間デザイン検討委員会における主なご意見

日時:平成27年12月18日(金) 13:30~16:20

会場:マリオス18階 188会議室

出席者:篠沢健太委員長、平野勝也副委員長、  
佐々木美代子委員、平塚明委員、松政正俊委員



### ○震災津波伝承施設(仮称)について

- ・伝承施設展示内容については、県内他自治体施設や市高台施設との連携・分担が必要
- ・震災遺構との一体的な利活用の検討が必要 >>>今後、震災津波伝承施設検討委員会でも検討

### ○市民感情(浸水区域への公園設置、古川沼の行方不明者)について

- ・利用上一定のリスクは承知の上で、リスクをどのように伝えていくか・考えるかの議論が必要
- ・不明者捜索については、技術的限界もある中で、どういったことが実行可能なのか検討が必要

### ○国営追悼・祈念施設(仮称)の空間デザインについて

- ・祈りの軸の橋はコストコントロールやコンケイブ地形のバランスも踏まえて見直して欲しい
- ・式典空間は視線が通り、かつ間延びしない設えを再検討して欲しい

### ○公園利用者の避難について

- ・徒歩避難時の車道横断、勾配等の状況が理解できる資料を作成して欲しい
- ・誘導システムについては、今後サインの詳細検討が必要

### ○植栽・自然再生について

- ・静謐な広場および自然遷移に任せる箇所の方法・頻度について要検討

### ○背面盛土について

- ・土量配分上も最優先すべき、防潮堤斜路上部も含めて再検討して欲しい

### ○公園内への一般車両乗り入れについて

- ・古川沼周囲の野鳥等の多様性にも配慮が必要

## 9. 第3回空間デザイン検討委員会における主なご意見

日時:平成28年3月17日(木) 15:00~18:00

会場:岩手県公会堂 2階21号室

出席者:篠沢健太委員長、平野勝也副委員長、  
佐々木美代子委員、平塚明委員、松政正俊委員



- 伝承施設・震災遺構等について
  - ・伝承施設と屋外の震災遺構等を、具体的に誰がどのように連携するのか、今後検討を深めるべき
- 市民の意見への対応について
  - ・ワークショップで得られた市民の意見について、今後各委員会・WG間で連携しながら念入りな対応方針を検討していきたい
- 国営追悼・祈念施設(仮称)の空間デザインについて
  - ・祈りの軸まわりのコンケイブ地形のデザインは、実施設計において引き続き重点的に検討・調整を行う
  - ・式典空間、追悼の広場等の呼称は再整理し、誤解を招かないような表現方法とする必要がある
- 植栽・自然再生について
  - ・市民協働による植樹等を行える空間整備や、ハマナスや実のなる木等の活用を検討する
  - ・自然再生の為の盛土・護岸整備は、一律ではなく現地の状況変化も踏まえた柔軟な対応が望ましい
  - ・防潮堤の陸側と海側のマツ林内の歩道の仕上げを同一にする等、一体的に感じられる整備が重要
  - ・当該地が県内唯一の生育地であるハマナデシコ等の貴重種については、事前に関係委員と十分相談の上で、その取扱いについて工事関係者に十分周知させる必要がある
- 避難について
  - ・海を望む場付近では、元に戻るのではなく別の場所に避難する形になるので、十分な注意喚起が必要
- 第2回有識者委員会への報告について
  - ・基本計画以降の検討経緯や、アドバイザーからのご意見等の報告等も含めた資料とする必要がある